

介福士試験 3分割へ

厚労省

「パート合格、26年1月から

厚生労働省は、9月11日に開催した「介護福祉士国家試験パート合格の導入に関する検討会」で、これまでの議論の取りまとめを行った。2026年1月実施の国家試験より問題を3分割し、不合格の場合は部分的な合格を認め、次回受験時には合格パートの受験を免除する仕組みを提言。厚労省と公益財団法人社会福祉振興・試験センターは今後、提言を踏まえて試験の見直しを行う。

介護福祉士国家試験は、実務経験ルートでの受験が8割を占める。働きながら学習時間を確保しなければならない点や、特定技能「介護」の外国人介護職が学習する際に日本語学習もしなければならない点が課題として挙げられていた。提言では、外国人に限らずすべての受験者を対象に制度を適用することが求められた。A、B、Cの3パートに分けた試験を一旦で実施。初受験時は全員が全パートを受験し、不合格者は再受験時に

試験実施のイメージ

午前	受験者入室		
	Aパート試験		
午後	休憩(Aパートのみの受験者は退室) 受験者入室		
	B・Cパート試験	Bパート試験	Cパート試験
	受験者退室	受験者退室	受験者退室

合格パートの受験を省略できる。パート合格の有効期限は受験年の翌々年までだが、状況

3分割パターンの考え方

試験科目	領域	出題数
人間の尊厳と自立	人	2
介護の基本	介	10
社会の理解	人	12
人間関係とコミュニケーション	人	4
コミュニケーション技術	介	6
生活支援技術	介	26
小計		60
ここからだのしくみ	こ	12
発達と老化の理解	こ	8
認知症の理解	こ	10
障害の理解	こ	10
医療的ケア	こ	5
小計		45
介護過程	介	8
総合問題		12
小計		20
合計		125

※領域については下記のように記載している。
人：人間と社会 介：ここからだのしくみ 介：介護

にに応じて見直しが必要とした。現行の試験体制は全科目の総合得点で合格を判定することから、苦手科目の点数を得意科目で補うケースも想定し、再受験時は全科目の受験もしくは不合格パートのみの受験のいずれかを選択できる。

とに補正したものと、パートごとの場合は全科目受験者の平均得点の比率を按分する。制度が導入されれば、再受験に向けて不合格傾向にある外国人人材にとって、パート合格制度は受験しやすくなる制度であるが、公益社団法人日本介護福祉士会は「質の担保がされる」としても、「在留資格を得るための資格」という風評被害に繋がりがかねない」と危惧している。

質の低下、懸念の声も

現行の3領域13科目の試験について学習内容の重なりを踏まえ、3パートに再分配。合格基準は、全科目の場合合は現行と同様に総合点の6割程度を基準として問題の難易度をも

の低下に繋がることを懸念する声もみられる。特定技能「介護」の外国人人材は、5年の在留期間中に受験でき、資格取得により在留資格に移行することができる。日本人受験生に比べ合格率が低い傾向にある外国人人材にとって、パート合格制度は受験しやすくなる制度であるが、公益社団法人日本介護福祉士会は「質の担保がされる」としても、「在留資格を得るための資格」という風評被害に繋がりがかねない」と危惧している。